

## 日立造船（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施

—13年連続で最高ランクの格付を取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、日立造船株式会社（本社：大阪市住之江区、取締役社長兼 CEO：三野禎男、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、国内外に幅広く展開する高効率ごみ焼却発電プラントを中心に、「脱炭素化」「水資源循環」「安全で豊かな街づくり」を軸に事業を展開し、「サステナブルで、安全・安心な社会の実現に貢献するソリューションパートナー」として、環境配慮型経営を推進しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を新たに設置し、グループ会社を含めた3つの下部委員会にて施策の検討を進めるなど、グループ一体での全社横断的なサステナビリティ体制を構築し、創業150年目の2030年にめざす姿である「2030 Vision」の実現に向けた戦略を推進している点
- (2) Hitz先端技術センター「A.I/TEC」やIoTセキュアプラットフォーム「EVOLIoT」におけるプラントの遠隔監視やデータの蓄積を活用し、運転の効率化・省人化及び設備の長寿命化を実現することにより、ごみ焼却発電プラント等の自社製品の更なる環境負荷低減効果の向上を図っている点
- (3) ごみ焼却発電プラントから回収したCO2のメタネーションに関する実証実験など、炭素循環モデルの社会実装を目指した取り組みを主導するとともに、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて新たに脱炭素化事業本部を設立し、2030年にかけての重点投資分野をまとめた製品・開発ロードマップを策定するなど、長期的な時間軸でのCO2排出量削減への貢献に取り組んでいる点

その結果、当社は、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を13年連続で取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

### 【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455